

平成 29 年度

事業報告

社会福祉法人しろね福祉会

特別養護老人ホームしなの園
老人デイサービスセンターしなの園
老人介護支援センターしなの園

平成 29 年度事業報告

***** 目 次 *****

第 1. しなの園・沿革史	1-2
第 2. 総務部門	3
第 3. 業務部門	
1. 医務の活動状況	4-5
2. 給食の活動状況	5-6
3. 機能訓練の活動状況	6-7
第 4. 介護老人福祉施設事業	8-9
第 5. 短期入所生活介護事業	10-11
第 6. 通所介護事業	12-13
第 7. 居宅介護支援事業	14-15
第 8. 社会福祉法人しろね福祉会（管理運営部門）	
1. 理事会・評議員会の開催状況	16
2. 防災訓練実施状況	17
3. 研修参加の状況	18-20
4. 実習生受け入れ状況	21
5. 事故発生状況	22
6. ボランティア受入状況	23-24

第1. しなの園沿革史 (平成 29 年度)

月	日	動 き
4	1	通所型基準緩和サービス開始
	1	新潟市生活支援体制整備事業 (第2層協議体事務局) 受託
	3	辞令交付式(新規採用職員3名)、永年勤続表彰式(10年勤続1名、20年8名)
	9	庄瀬さくら祭り参加 (キッツエンジャー出演)
	10	DS桜・桃の花見ドライブ
	11	イオン白根店様、黄色いレシート贈呈式出席
	11	労働基準監督署立ち入り調査 (超過勤務について改善指示)
	14・17・18	特養：お花見ドライブ
5	1	荘廻瀬神社祭り (特養利用者参加)
	7	白根ローターアクトクラブ様、花の苗植えボランティア
	12	庄瀬小学校4年生交流 (5/12,27、6/8,27、7/7,18、9/19、10/13,22,31)
	17	虹の里訪問 (加算用件等勉強のため)
	24	平成28年度事業・決算 監査
	27	庄瀬小学校運動会見学・参加 (特養・SS利用者参加)
	30	第1回理事会
6	1・5	白根大凧合戦観戦 (特養・SS・DS利用者参加)
	2	新津植物園へ (凧合戦予定を悪天候のため変更)
	23	第1回評議員会 (新理事選出)、第2回理事会 (理事長選出)
7	3	特養利用者結核検診 (レントゲン車にて74名)
	27・28	白根高校インターンシップ (2名)
	28	社会福祉法人制度及び指導監査に関する説明会参加 (新潟市)
8	1	白南中学職場体験1名
	12	庄瀬農村公園祭り参加
9	3	肢体不自由児者父母の会主催 ミュージックケア
	14	「いきいき美容教室」 (DS利用者参加) 資生堂様協力
	17	敬老会 (感謝状授与34名、DSは～23日まで敬老会実施)
	18	100歳お祝表敬訪問 (1名)
	24	しなの園祭り (しなの園駐車場にて)
	29	衛生委員会 (産業医水戸部先生出席、職場環境視察及び指導)
10	1	庄瀬地区防災訓練参加
	7	南区健康福祉フェア参加
	17	第1回南区家族介護者教室 (新潟市委託事業)
	19	第1回防災訓練 (各事業利用者参加による大規模訓練、防災体験研修)
	19	第48回衆議院議員総選挙、期日前投票 (特養4名、南区役所へ)
	22	庄瀬小学校文化祭見学
	25	第3回理事会
11	1	DS紅葉ドライブ (7名)

月	日	動 き
	2・7・9	キュービクル入替工事 (13時～16時停電)
	3・4	そば打ち実演・試食 (日清医療食品様)
	6	ソーラー工事開始 (おらって新潟様所有、設置屋根の賃貸契約によるもの)
	12	ボランティア交流会
12	5	新潟県ゴルフ連盟より福祉施設へ福祉機器等贈呈式 (AED 受贈)
	7	通報訓練 (水害を想定したもの)
	11	園内定期研修会・外部講師 (ヘルスカウンセラー) による「メンタルヘルス」
	25	消防立入検査
	27	ガス・給湯・空調停止 (給湯ポンプ漏電により、15:00～17:00)
1	5	初代渡辺正直理事長逝去 (葬儀にて供花)
	15	骨折事故多発による緊急朝会 (理事長より訓示)
	16・17・19	臨時リスク研修会
	25	給食施設巡回指導
	28	介護福祉士国家試験 (介護福祉士 2名合格)
	29・30	管理栄養士採用試験 (6名受験)
2	5	居宅介護支援事業所集団指導参加
	6	通所介護事業所集団指導参加
	18	(有志にて) 小林地区卓球大会参加
	25	第44回庄瀬地区芸能祭、キッツエンジャー参加
3	1	大風によりキャノピー屋根破損
	6	南区第2層白南・白根第一圏域 第1回「支え合いのしくみづくり会議」開催
	14	平成30年度介護報酬改定に係る事業者説明会 (新潟県) 参加
	22	第4回理事会
	24	第2回南区家族介護者教室 (新潟市委託事業)、認知症カフェにて開催
	30	第2回防災訓練 (夜間想定)
<p>○認知症介護実践研修修了者 (2名)</p> <p>○おれジョブ受け入れ、全12回 (7/7,23、8/6,20、9/10,24、10/15,29、11/12,26、12/3,10)</p> <p>○ニラク様よりお菓子の寄贈 (合計17回)</p> <p>○骨折事故多発 (12/24 : DS、1/1 : 特養、1/4 : 特養、1/5 : 特養、1/11 : SS、全5件、いずれも新潟市に報告済み)</p>		

第2. 総務部門

1. 総務部門の活動状況

□リスクマネジメント

- ・社会福祉法の改正により役員及び評議員に対する損害賠償請求のリスクが高まることから、職務遂行に支障が生じないように役員賠償責任保険に加入した。
- ・防災マニュアル見直しに伴い、職員連絡網による緊急招集訓練を実施した。
- ・利用者の骨折事故に対して、施設賠償保険で対応した。

□法令遵守

- ・平成30年度制度改正に伴い、各種規程の見直しを行った。
- ・労務管理（勤怠管理）の見直しを行い職員への周知を行ったが、ルール of 徹底には至らなかった。引き続き職員への働きかけと現状把握、改善に努めていきたい。

□職員の技術・知識の向上

- ・接遇・ビジネスマナー研修を実施した。
- ・労務管理、人材採用、ハラスメント対策などの外部研修に参加した。
- ・業務に関する各種法令変更の情報共有を図った。

□地域交流と貢献

- ・新潟市生活支援体制整備事業第2層事務局として、コーディネーターの活動をサポートした。また、3月に南区支え合いのしくみづくり会議を開催した。
- ・広報「なじらね」毎月発行。（庄瀬地区回覧、利用者家族・関係事業所へ配布）

□人財の確保・定着

採用		退職	
4月	3名（介護職員）	6月	3名（介護職員）
11月	2名（介護職員）	7月	2名（介護職員）
12月	1名（介護職員）派遣より	8月	1名（介護職員）
		10月	1名（介護パート）
		2月	1名（介護職員）
		3月	1名（管理栄養士）定年

- ・育休復帰職員 2名（1名：育児短時間勤務）、産休・育休職員 1名
- ・管理栄養士の定年退職に伴い、3月に募集を行い新年度採用を決定した。
- ・欠員に対する補充は適切に行えた。
- ・平成29年度年休取得率：46.3%（平均保有日数：17日、平均取得日数：8日）

□経費節減

- ・受電設備の入替工事に併せて、深夜電力契約を廃止した。
- ・突発的な修理・修繕は減少したが、今年度は夏・冬とも気候（気温）の変化が激しく消費電力量が上昇した。
- ・冬場の降雪量が多かったため、除雪に係る経費が増加した。
- ・新年度、新電力会社に切り替えを予定している。

第3. 業務部門

1. 医務の活動状況

□利用者の処遇向上

- ・カンファレンスに参加し、他職種との情報共有を図った。参加できない場合は、情報、対応等、医療面での考えを伝えた。
- ・地域行事に参加、無事故で行えた。
- ・個別の要望に合わせ、相談、対応に努めた。

□リスクマネジメント

- ・感染予防対策の基本として、標準予防策（スタンダード・プレコーション）の浸透をはかる為、定期研修会等で研修を行った。
- ・特養利用者において、インフルエンザやノロウイルスの発症はなかった。在宅サービス利用者及び職員の罹患があり、その都度感染症対策会議を招集し、2次感染の防止ができた。
- ・特養利用者と職員に対して、11月にインフルエンザ予防接種、特養利用者の接種対象者に対して、2月・3月に肺炎球菌ワクチン予防接種を実施した。
- ・毎月、ヒヤリハットを記録に残すことで、意識付けに役立てることができた。
- ・必要に応じて、マニュアルの手直しを進めることができた。

□職員の技術・知識の向上

- ・外部研修に参加。医務ミーティング、研修会等で復命を行った。
- ・全職員向けの定期研修会で、医療知識の研修を行った。
- ・介護職員対象に、毎月痰吸引の研修を行った。

□地域交流と貢献

- ・広報「なじらね」で、インフルエンザとノロウイルスの情報を発信した。
- ・しなの園祭りで、白根保健生活協同組合と共に「健康チェック・相談」を行った。

【月別受診件数（人数）及び延べ日数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	20	21	13	15	18	19	23	24	28	17	27	26	251
日数	31	40	19	18	28	28	53	47	57	39	48	43	451

* 吉沢医院以外も含む（内科、外科、精神科、眼科、循環器科、整形、皮膚科、神経内科、泌尿器科、脳外科）

【月別点滴者数及び延べ日数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	4	8	3	3	3	4	8	10	9	9	7	5	73
日数	59	105	44	42	23	35	96	113	144	99	52	40	852

【月別血糖 A1c、定期血液検査人数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
血糖	3	3	2	0	4	2	6	2	2	2	2	1	40
定期	14	10	8	21	19	11	13	11	5	18	14	11	155

* 血糖 A1c は糖尿病でインシュリン注射が必要な方（毎月）、定期は6ヵ月ごと全利用者対象

【月別診察日数及び人数】 * () 内は臨時

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日数	10	10	10	6	6	5	10	10	10	9	10	10
人数	80(2)	78	78	79(2)	81	80(2)	79	79	78(3)	73(3)	78(4)	73(4)

【月別入院者数及び延べ日数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	1	2	1	0	0	0	1	2	3	8	7	4	29
日数	4	32	26	0	0	0	5	19	36	51	109	77	359

【月別歯科往診人数】 * 毎月2~3回の往診人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	17	18	16	16	17	17	16	16	16	16	16	16	197

【その他】

- 7月 胸部 X線検査（結核検診）78名
- 10月 肺炎球菌ワクチン 12名
- 11月 インフルエンザ予防接種 特養利用者73名、職員94名
- ※平成29年度退所者19名（施設での看取り14名 病院5名）

2. 給食の活動状況

□利用者の処遇改善

- ・ケアプランに基づいた、適正な栄養ケアマネジメントの継続を行った。
- ・多職種と情報共有し、健康状態の維持、及び低栄養状態の改善に向け取り組んだ。
- ・多職種協働で、褥瘡予防、及び発症後の早期改善に向け、適切に対応した。
- ・給食委託業者と、意見交換や情報共有を行い、サービス向上に努めた。
- ・献立に対しての意見や要望を汲み取るため、各ユニットに「アンケートノート」を用意し、集まった意見をもとに検討を行った。
- ・喜ばれる食事提供：郷土食 2回〔8/6 愛知県・11/21 群馬県〕
コンセプトメニュー 3回
その他各種行事食
- ・給食委員会主催イベント：そば打ち 2回〔11/3・11/4〕

□リスクマネジメント

- ・内部研修講師2回：「食中毒」「感染症」
- ・災害備蓄品、保存水の保管管理を行った。
- ・非常食の内容変更について、委託業者と協議中に終わった。
- ・食事に異物混入が度々あり、委託業者に再発防止を要請した。

□地域交流と貢献

- ・しなの園秋祭りで「栄養相談コーナー」を設けた。〔9/24〕
- ・家族介護教室「高齢者の食事のおはなし」講師。〔10/17〕

【食事形態別食数（単位：食）】

月	特養							SS					DS				
	常菜	刻み/ 極刻み	ﾄｰﾝ/ 汁	経口 流動	経管 流動他	合計	1日 平均	常菜	刻み/ 極刻み	ﾄｰﾝ/ 汁	合計	1日 平均	常菜	刻み/ 極刻み	ﾄｰﾝ/ 汁	合計	1日 平均
4	2,898	2,043	1,658	30	450	7,079	236	1,002	253	27	1,282	43	545	66	18	629	21
5	2,931	1,967	1,675	30	473	7,076	228	1,027	269	17	1,313	42	552	74	18	644	21
6	2,789	1,961	1,677	0	540	6,967	232	960	280	17	1,257	41	571	65	19	655	22
7	2,883	2,137	1,686	0	558	7,264	234	1,045	294	18	1,357	44	586	63	17	666	21
8	2,875	2,230	1,673	0	583	7,361	237	1,010	310	17	1,337	43	582	63	11	656	21
9	2,721	2,179	1,625	0	630	7,155	239	1,036	303	17	1,356	45	572	60	9	641	21
10	2,565	2,240	1,702	0	651	7,158	231	1,057	306	17	1,380	45	567	64	9	640	21
11	2,366	2,283	1,580	0	630	6,859	229	1,007	316	17	1,340	45	512	54	15	581	19
12	2,412	2,356	1,532	0	651	6,951	224	1,035	307	19	1,361	44	531	61	10	602	19
1	2,141	2,380	1,626	0	670	6,817	220	1,005	274	11	1,290	42	495	66	7	568	18
2	2,009	2,045	1,460	4	675	6,193	221	806	255	17	1,078	39	456	58	9	523	19
3	2,161	2,287	1,699	0	793	6,940	224	889	238	6	1,133	37	515	72	11	598	19
合計	30,751	26,108	19,593	64	7,304	83,820		11,879	3,405	200	15,484		6,484	766	153	7,403	

3. 機能訓練の活動状況

□利用者の処遇向上

- ・個々に応じたプランの設定と訓練を行った。
- ・身体機能の維持は概ね図れ、一部の利用者は改善も見られた。
- ・カンファレンス時に状況の確認や提言を行い、スタッフ間で共通認識を図った。
- ・リハビリの認識が定着してきており、相談等も増えてきている。

□リスクマネジメント

- ・訓練中の事故はなかった。利用者の体調不良時の転倒が多く、カンファレンスにて身体状況を伝え、リスクの共有と軽減を図った。
- ・事故についての対応、対策の指導、情報の共有を図った。

□職員の技術、知識の向上

- ・定期研修への参加、講師、部署内での実技講習などを行い、職員の知識向上を図れた。
- ・デイサービス機能訓練指導員と月1回ミーティングを実施。機能訓練体制や訓練方法など助言を行い、デイサービスに貢献することができた。

【特養 機能訓練内容別実施人数】

訓練内容		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
		対象 人数	延べ 人数	対象 人数	延べ 人数	対象 人数	延べ 人数	対象 人数	延べ 人数	対象 人数	延べ 人数	対象 人数	延べ 人数	対象 人数	延べ 人数	対象 人数	延べ 人数	対象 人数	延べ 人数	対象 人数	延べ 人数	対象 人数	延べ 人数	対象 人数	延べ 人数	
歩行 訓練	生活	なし班	7	156	6	154	5	150	5	126	6	128	6	95	6	118	4	100	5	153	5	104	3	84	4	109
		りんご班	5	150	5	150	5	149	5	155	5	155	5	150	5	150	5	130	5	126	5	88	2	34	3	88
		ぶどう班	6	180	6	186	6	185	6	172	6	171	5	144	5	151	5	52	5	52	2	59	2	56	2	60
	個別		5	43	5	55	5	53	5	37	8	50	8	37	8	29	7	21	10	42	9	38	6	33		45
座位保持 訓練	生活	なし班	14	393	14	458	15	422	15	405	15	388	15	364	15	368	15	391	16	248	15	401	17	424	20	548
		りんご班	12	358	12	325	12	309	10	301	11	337	12	339	12	331	12	284	12	316	13	374	15	424	17	449
		ぶどう班	8	236	8	219	9	268	9	279	9	276	10	300	10	277	10	261	10	302	13	375	13	322	14	298
	個別		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
立位 訓練	生活	なし班	7	205	8	205	6	172	7	170	7	160	7	165	8	172	8	181	8	201	5	129	6	80	5	125
		りんご班	9	270	9	253	8	240	9	270	9	268	9	261	9	220	8	211	8	235	8	205	6	129	7	209
		ぶどう班	11	317	12	344	13	390	13	403	15	461	13	380	13	344	13	309	13	358	12	319	10	270	11	309
	個別		6	63	6	63	6	69	6	56	8	59	7	45	6	36	5	30	5	45	4	36	5	29	8	35
関節 可動域 訓練	生活	なし班	2	17	2	17	2	15	2	16	2	11	2	16	2	15	2	11	2	17	2	10	2	11	2	12
		りんご班	1	6	1	8	1	9	1	8	1	9	1	9	1	9	1	5	1	9	1	7	1	8	1	8
	個別		10	36	10	35	10	41	10	42	11	53	11	50	11	49	10	33	9	41	8	25	8	26	9	29
自操	生活	なし班	1	30	1	31	1	30	1	31	2	62	2	60	2	62	2	59	2	32	1	31	1	19	0	0
		りんご班	2	60	2	62	2	60	2	62	2	62	2	56	2	33	2	60	2	60	2	62	2	56	0	0
		ぶどう班	5	150	5	154	5	150	5	155	5	155	5	150	5	140	5	150	5	131	3	62	2	56	4	100
	個別		1	19	1	18	1	21	1	17	1	19	1	16	1	17	1	13	1	18	1	13	1	16	1	17
作業	生活	なし班	1	30	1	31	1	30	1	31	1	31	1	30	1	31	1	30	1	31	1	31	1	28	1	29
		りんご班	1	30	1	30	1	30	1	31	1	31	1	30	1	31	1	25	1	30	1	29	1	28	1	31
		ぶどう班	2	30	2	37	2	34	2	34	2	36	2	32	2	11	2	30	2	50	2	48	2	12	2	27

【個別機能訓練加算算定数（延べ人数）】

特養	なし班	4月	723	5月	726	6月	745	7月	648	8月	631	9月	605	10月	584	11月	584	12月	634	1月	631	2月	610	3月	728
	りんご班	718	666	694	700	719	717	656	561	673	654	565	769												
	ぶどう班	675	715	717	727	757	702	666	567	599	603	537	794												
	合計	2,116	2,107	2,156	2,075	2,107	2,024	1,906	1,712	1,906	1,888	1,712	2,291												
SS	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月													
	体操	12	9	20	30	20	30	13	14	32	6	6	5												
	個別	26	15	19	20	20	32	44	38	39	24	15	28												

※一人に数種類の訓練を行う場合がある為、上記2つの表の総数は同数にはなりません。

※特養個別機能訓練実施率 82.2% 24,000/29,200人（延べ人数）

※ショートステイにおいて、全利用者を対象として機能訓練体制加算を算定。

第4. 介護老人福祉施設事業

1. 平成29年度重点実施事項

□利用者の処遇向上

- ・洗面台の設置や低床ベッドを導入し、利用者が快適で安全に行動を制限することなく、過ごせる環境を作ることができた。
- ・利用者の体調不良が改善されてから、以前の対応に戻すまでの期間が長くなってしまい、利用者のADLが低下した。
- ・敬老会を実施し、利用者が家族と一緒に祝える機会が作れた。
- ・お見送りカンファレンスを実施し、利用者一人ひとりから、次につながるケアを学び、他の利用者の介護に役立てることができた。

□リスクマネジメント

- ・骨折事故3件。要因として、利用者の状態変化に、他の視点から介助方法を見直すことができなかったことや、職員の見守り不足による不注意で、事故が起きた。
- ・介護事故が昨年度から、20件近く減らすことができた。背景として、SHELL分析へ移行し、ソフトウェア、ハードウェアの視点からも事故減少につなげることができた。
- ・風邪症状が広まってしまい、多くの利用者の生活に制限をかけてしまった。

□職員の技術・知識の向上

- ・職員がやりがいを持てるよう、利用者や家族からの良い言葉、職員の良くなった点などを伝えることができた。
- ・新人職員の能力に応じた指導ができ、指導する側と指導される側が、お互いに学んでいくことができた。
- ・外部研修を受けた職員が、自発的に定期研修会で、発表する機会を作ることができた。
- ・介護口腔ケア推進士に2名合格し、口腔衛生管理体制（加算）のスキルを高めることができた。

□地域交流と貢献

- ・介護度が重い方においても、外出ツアーを実施できた。個別では、自宅まで外出し、地域の方と交流する機会を作ることができた。
- ・地域行事への参加、ボランティアの方々の方が活動しやすい場を提供できた。
- ・介護、相談援助実習生、地域の学生（庄瀬小学校、白根高校、ぶれジョブ）を受け入れ、多職種が関わって福祉の魅力を伝えることができた。

□稼働率の維持・向上

- ・目標稼働率 97% → 実績稼働率 99.0%
- ・入所要件の見直しにより、利用者の重度化、また入所から退所までの期間が短くなった。
- ・事前面接を行ったが、退所者が続くと空きベッド日数が長くなり、稼働率が低下した。
- ・体調不良や骨折事故による入院者（入院期間）が増え、稼働率に影響がでた。
- ・経口摂取支援「経口維持加算(I)」を1名の利用者に、多職種で取り組むことができた。

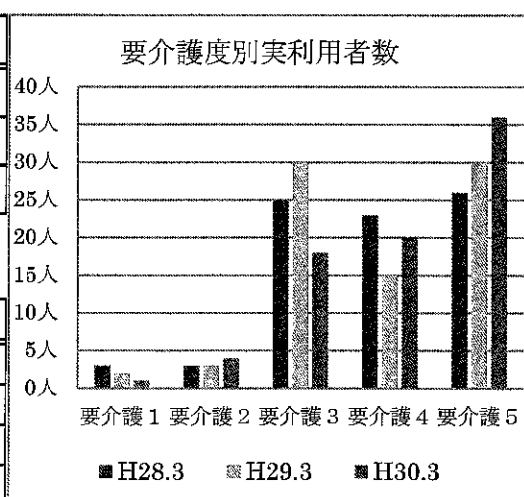
2. 業務実施状況

【利用実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数	2,384	2,455	2,390	2,465	2,476	2,400	2,467	2,371	2,466	2,446	2,186	2,389	28,895
稼働率	99.3%	99.0%	99.6%	99.4%	99.8%	100.0%	99.5%	98.8%	99.4%	98.6%	97.6%	96.3%	99.0%

【要介護度別実利用者数】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
H28.3	3人	3人	25人	23人	26人	80人
H29.3	2人	3人	30人	15人	30人	80人
H30.3	1人	4人	18人	20人	36人	79人



【市町村別要介護度状況】

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
新潟市	1人	4人	18人	20人	34人	77人
燕市					1人	1人
五泉市					1人	1人
田上町						0人

【入退所状況】 *入所者合計 18名、退所者合計 19名、入院者合計 15名

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新潟市	入所	1人	2人	1人	2人	1人		1人	2人	1人	2人	1人	4人	18人
	退所	1人	2人	1人	1人	1人		1人	2人		2人	5人	1人	17人
燕市	入所													0人
	退所	1人												1人
五泉市	入所													0人
	退所													0人
田上町	入所													0人
	退所							1人						1人

【入所申し込み状況】

	新潟市	燕市	五泉市	田上町	その他	合計
平成27年度	229人	0人	0人	36人	0人	265人
平成28年度	231人	1人	0人	57人	1人	290人
平成29年度	236人	0人	0人	32人	0人	268人

第5. 短期入所生活介護事業

1. 平成29年度重点実施事項

□利用者の処遇向上

- ・利用者から具体的に示された要望や、明確な状態変化が見られた時は、部署内カンファレンスを行って対応を検討し、職員で情報共有するとともにケアの統一を行ったが、システム化するまでには至らなかった。
- ・日々のコミュニケーションから、利用者との信頼関係を深め、要望をくみ取りやすい関係を築くことができた。
- ・利用者が楽しみを持ち、メリハリのある充実した生活ができるように、今までの計算問題や塗り絵の他にも、字合わせパズルや貼り絵などのレク材を増やし、またデイサービスからレク材を借りるなどして余暇活動の充実が図れた。
- ・生活動作の維持向上を目指し、機能訓練指導員と連携して体操教室を継続した。本人・家族から希望があった時や、必要性のある利用者については、機能訓練指導員から評価をしてもらい、ニーズに合わせた個別リハビリを提供できた。

□リスクマネジメント

- ・転倒リスクがある利用者は、日々の申し送り等で職員間の情報共有を行っていたが、日中の業務が立て込んでいる時間帯の、転倒事故が数回あった。また、介助中の骨折事故を起こしてしまった。変化に気づき、それを周りに発信することができなかった。
- ・意見要望は真摯に受け止め、口頭や文書にて職員間で確実に情報共有し、同様のことが起こらないよう再発防止に努めた。
- ・新規利用者の情報も随時追加し、行うべきことが確実にできるように努めた。アセスメント表の見直しを行い、活用することができた。

□職員の技術・知識の向上

- ・必要時は部署内カンファレンスを行って対応を検討し、勉強会を行ったが、チームケアの充実や接遇の向上までには至らなかった。
- ・勤務調整及びヘルプ依頼を行って、できる限り内・外部研修に参加し、復命を行ったが、研修内容をチーム力向上に繋げるには至らなかった。
- ・OJT 記録を活用して理解状況を確認し、本人の理解度に合わせた指導を職員間で共有して行うことができた。

□稼働率の維持・向上

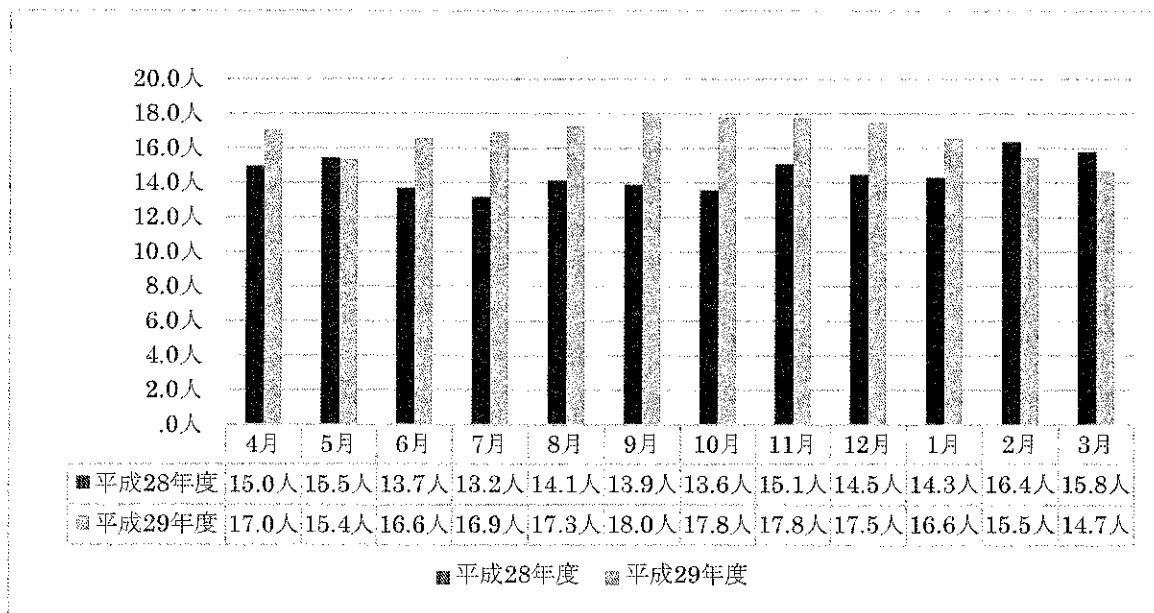
- ・目標稼働率 76% → 実績稼働率 83.8% (1日平均人数 16.8名)
- ・一旦は新規利用者が定着し、定期利用に繋がったが、年末からの体調不良等による急な利用キャンセルや入院者、施設入所者などの増加により、急激に稼働率が低下した。
- ・利用者は、疾病を抱えた高齢者であり、長期入院、特養・老健への入所が随時あった。今後、そのような時は居宅介護支援事業所に空室情報等を提供し、新規・追加利用をスムーズに行えるよう体制を整える。

2. 業務実施状況

【利用実績】

	平成29年度 利用内訳					平成29年度	平成28年度
	利用人数	延べ人数	1日平均	新規利用者	送迎件数	稼働率	稼働率
4月	48人	511人	17.0人	5人	241件	85.2%	74.8%
5月	48人	476人	15.4人	5人	249件	76.8%	77.3%
6月	48人	497人	16.6人	2人	245件	82.8%	68.5%
7月	52人	525人	16.9人	1人	273件	84.7%	66.0%
8月	50人	535人	17.3人	3人	245件	86.3%	70.6%
9月	51人	541人	18.0人	4人	275件	90.2%	69.5%
10月	53人	552人	17.8人	3人	270件	89.0%	67.9%
11月	53人	533人	17.8人	2人	253件	88.8%	75.5%
12月	54人	542人	17.5人	3人	256件	87.4%	72.4%
1月	52人	514人	16.6人	2人	236件	82.9%	71.6%
2月	49人	433人	15.5人	0人	212件	77.3%	79.1%
3月	50人	455人	14.7人	5人	226件	73.4%	79.0%
合計	608人	6,114人	-	35人	2,981件	-	-
平均	51人	510人	16.8人	3人	248件	83.8%	72.7%

【月別平均利用者数】



【要介護度別実利用者数】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成29年3月	0人	1人	7人	12人	20人	4人	1人	45人
	0%	2%	16%	27%	44%	9%	2%	100%
平成30年3月	1人	2人	7人	15人	16人	6人	3人	50人
	2%	4%	14%	30%	32%	12%	6%	100%

第6. 通所介護事業

1. 平成29年度重点実施事項

□利用者の処遇向上

- ・看護師3名体制になり、利用者の健康管理や身体状況の把握など、より早期に家族や担当ケアマネージャーへ情報伝達する事ができた。また機能訓練指導員の配置により、個別機能訓練の実施をすることができ、利用者に対する在宅生活の維持・向上に繋げることができた。
- ・通所型基準緩和サービスでは、利用者のニーズが異なるため、趣味・趣向に合わせた内容を準備し、ケアプランの位置づけと照らし合わせながら利用者の日常生活支援に努めた。

□リスクマネジメント

- ・送り時の送迎で骨折事故が発生し、家族不在時などの送迎方法や取り決めについて、振り返りをしながら確認・見直しをした。検討後、すぐに手順書を作成し職員に周知した。
- ・ヒヤリハットなど振り返りを行うことで、利用者の状態をタイムリーに把握し、用具の使用や介助方法について話し合った。

□職員の技術・知識の向上

- ・多職種で内容・日程等を調整し、勉強会を実施。特に今年度より始まった新潟市介護予防・日常生活支援総合事業や個別機能訓練加算について、必要性を理解し知識を深めた。
- ・各専門職が専門的な知識を生かし、それぞれの分野で助言・発信することで、多職種協働や連携の意識がより深まった。

□地域交流と貢献

- ・年間計画を作成し、季節に合わせた外出やニーズに合わせた外出等、多くの利用者に参加してもらった。また、今年度は果樹園や市場への買い物、回転寿司店等にも外出し、利用者が自分で「金銭を支払う」「欲しい物を選ぶ」といった自立支援にも繋がった。

□稼働率の維持・向上

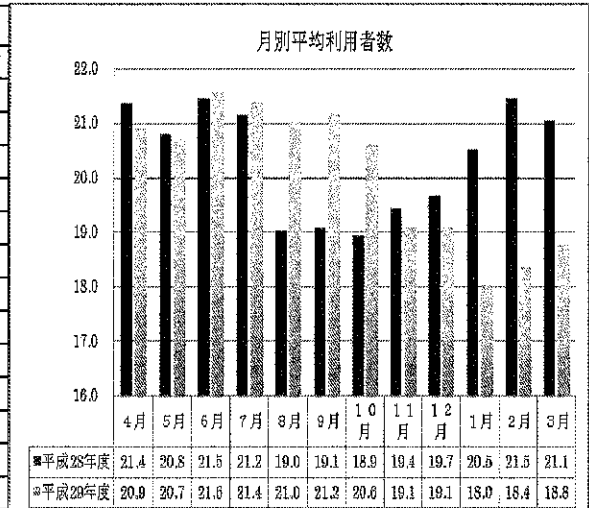
- ・目標稼働率 80% → 実績稼働率 80.3% (1日平均人数 20.1人)
- ・冬期間の入所、入院、体調不良者が例年になく増加し、稼働に繋がらなかった。
- ・今年度より新潟市介護予防・日常生活支援総合事業の開始。介護予防通所介護から介護予防通所介護相当への移行は、スムーズに行えた。
- ・通所型基準緩和型サービス開始(定員5名)。昨年度のモデル事業の反省より営業時間を変更して実施、主に事業対象者の登録が多い。通所型短期予防集中サービス「幸齢ますます教室(3か月)」終了者が新規利用に繋がっている。
- ・看護師3名体制になり、より在宅生活の維持・向上を計るため個別機能訓練を開始。それに伴い「個別機能訓練加算I」を算定した。

2. 業務実施状況

①通所介護・介護予防通所介護相当

【利用実績】

	実利用数	通所延べ利用者数	予防延べ利用者数	稼働日数	1日平均	新規利用		稼働率	
						H29年度	H28年度	H29年度	H28年度
4月	84人	532人	95人	30	20.9人	5人	1人	83.6%	85.5%
5月	86人	547人	95人	31	20.7人	3人	1人	82.8%	83.2%
6月	81人	559人	88人	30	21.6人	0人	1人	86.3%	85.9%
7月	81人	572人	91人	31	21.4人	0人	0人	85.5%	84.6%
8月	80人	571人	81人	31	21.0人	2人	0人	84.1%	76.1%
9月	79人	548人	87人	30	21.2人	1人	0人	84.7%	76.4%
10月	80人	563人	76人	31	20.6人	1人	4人	82.5%	75.7%
11月	76人	501人	72人	30	19.1人	1人	1人	76.4%	77.7%
12月	78人	511人	81人	31	19.1人	0人	2人	76.4%	78.7%
1月	73人	472人	87人	31	18.0人	3人	6人	72.1%	82.1%
2月	74人	436人	78人	28	18.4人	1人	3人	73.4%	85.9%
3月	72人	488人	94人	31	18.8人	1人	1人	75.1%	84.3%
合計	944人	6,300人	1,025人	365	20.1人	18人	20人	80.3%	81.3%



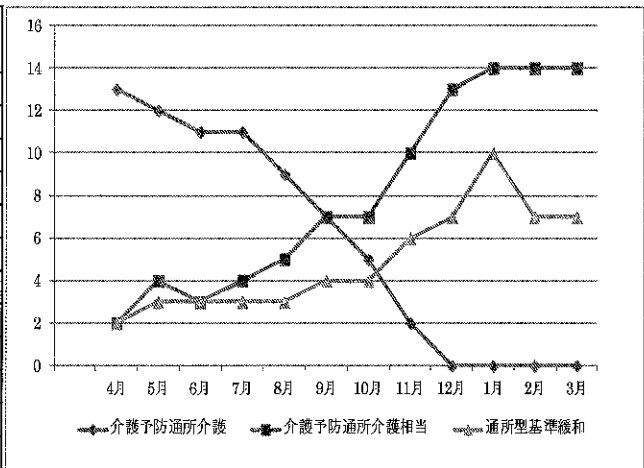
※平成28年新規利用はモデル事業含む

②要介護度別実利用者数

	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成29年3月		4人	10人	23人	28人	11人	3人	3人	82人
		5%	12%	28%	34%	13%	4%	4%	100%
平成30年3月	6人	4人	12人	15人	20人	14人	7人	2人	80人
	8%	5%	15%	19%	25%	18%	9%	3%	100%

③介護予防通所介護、介護予防通所介護相当、通所型基準緩和サービス登録者推移状況

	介護予防通所介護	介護予防通所介護相当	通所型基準緩和
4月	13人	2人	2人
5月	12人	4人	3人
6月	11人	3人	3人
7月	11人	4人	3人
8月	9人	5人	3人
9月	7人	7人	4人
10月	5人	7人	4人
11月	2人	10人	6人
12月	0人	13人	7人
1月	0人	14人	10人
2月	0人	14人	7人
3月	0人	14人	7人



④通所型基準緩和

【利用実績】

	実利用数	延べ利用者数	稼働日数	1日平均	平成29年度	
					新規利用	稼働率
4月	2人	6人	20	0.3人	3人	6.0%
5月	3人	10人	23	0.4人	1人	8.7%
6月	3人	13人	22	0.6人	0人	11.8%
7月	3人	11人	21	0.5人	0人	10.5%
8月	3人	13人	23	0.6人	0人	11.3%
9月	4人	15人	21	0.7人	0人	14.3%
10月	4人	17人	22	0.8人	0人	15.5%
11月	6人	27人	22	1.2人	2人	24.5%
12月	7人	24人	21	1.1人	1人	22.9%
1月	10人	26人	23	1.1人	3人	22.6%
2月	7人	20人	20	1.0人	0人	20.0%
3月	7人	26人	22	1.2人	0人	23.6%
合計	59人	208人	260	0.8人	10人	16.0%

第7. 居宅介護支援事業

1. 平成29年度重点実施事項

□利用者の処遇向上

- ・タイムリーな記録を心掛け、アセスメント情報や課題の整理がスムーズに行えるようになった。また、部署内でも事例検討を行い、課題整理を深めるとともにケアプランの確認を行い、様々なアプローチ方法、援助内容を検討することができた。
- ・チームアプローチの強化として、これまでの経過や生活背景の共有に努め、利用者の“生活”“自立支援”に視点を置き、チームで目指す方向性を確認することができた。各専門職から多角的な意見、支援を受けることができ、生活目標の達成や利用者本人の意欲醸成に繋がっている。
- ・介護予防・日常生活支援総合事業が開始され、サービスの移行や新規利用者ともに支障なく対応できたが、既存のサービス以外の社会資源についてケアマネジメントに活かすきれなかった。日頃から、地域との繋がりを意識、整理しながらケアプランに反映させていきたい。

□リスクマネジメント

- ・業務マニュアルでは、相談受付手順書の作成、様式の見直しを行った。
- ・災害時の対策として、地域支援手順書を作成した。災害時の担当利用者への支援、各関係機関との連携について整理し、緊急時に備えることができた。今後も随時見直しを行っていく。
- ・法人内苦情対応マニュアルの見直しに参画。これまでの苦情対応を振り返りながら、多職種との意見交換や提案を行った。

□職員の技術・知識の向上

- ・研修参加等、計画通りに実施できた。
- ・様々な分野、他の専門職が行う研修へ積極的に参加し、各分野の専門知識や技術も習得することができた。各分野・専門職の関わりの重要性を再確認したことで、実践においてチームアプローチの視点が強化され、自立支援に向けた具体的な関わり、ケアマネジメントに繋がっている。

□地域交流と貢献

- ・南区居宅連絡会の運営、活動へ積極的に参加。地域包括ケアシステムの構築に向け、南区の地域づくりを意識し、地域の関係機関・多職種との連携、情報交換、研修の協働開催を行った。
- ・地域における介護支援専門員の人材育成として、実習生2名の受け入れ、指導を行った。

□稼働率の向上

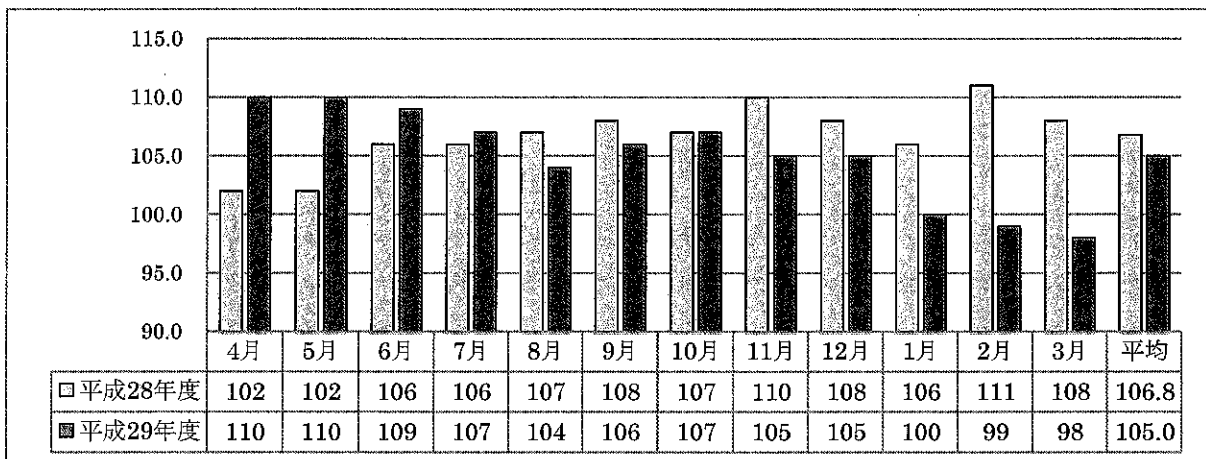
- ・目標レセプト件数 108件/月 → 実績 105.0件/月（解約者 23件、新規利用者 19件）
- ・新規利用者の相談は可能な限り受託しているが、一時的な入院、入所による中断も多く、新規利用者を受託できない状況が続いた。
- ・介護予防・日常生活支援総合事業ケアマネジメントが開始されたが、これに影響する減収はなかった。

2. 業務実施状況

【実績件数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	収益(3月分)
H28	介護	76	75	76	77	81	83	83	87	85	83	85	83	81.2	1,234,505
H29	介護	84	84	81	82	79	82	83	82	81	77	77	77	80.8	1,160,467
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	収益(3月分)
H28	予防	26	27	30	29	26	25	24	23	23	23	26	25	25.6	98,775
H29	予防	26	26	28	25	25	24	24	23	24	23	22	21	24.3	82,971
その他	・認定調査件数 H29年度 103件/年 (H28年度 124件/年、H27年度 119件/年)														

【実績件数推移】



【介護度別利用者状況 (件数)】

	事業対象者	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
H29年3月		31(23%)	21(19%)	32(30%)	18(16%)	8(7%)	4(4%)	108
H30年3月	1(1%)	20(21%)	17(17%)	30(31%)	16(16%)	8(8%)	6(6%)	98

【地域別利用者状況 (件数)】

	新飯田	茨曾根	庄瀬	小林	白井	その他	計
H29年3月	28(26%)	22(20%)	42(39%)	6(6%)	2(2%)	8(7%)	108
H30年3月	24(25%)	20(20%)	38(39%)	6(6%)	3(3%)	7(7%)	98

【加算状況年間件数】

	初回	入院時連携	退院・退所
H28年度	34	23	14
H29年度	24	34	23

【年間相談件数】

	相談経路				計	月平均
	電話	文書	来所	訪問		
H28年度	3,737	266	282	4,188	8,473	706
H29年度	4,110	296	364	4,286	9,056	755

第 8. 社会福祉法人しろね福祉会（管理運営部門）

1. 理事会、評議員会の開催状況

区分	日時・会場	事 項
第 1 回 理事会	平成 29 年 5 月 30 日 (火) 午後 1 時 30 分～ 特別養護老人ホームしなの園 ボランティアステーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人しろね福祉会平成 28 年度事業報告について 2. 社会福祉法人しろね福祉会平成 28 年度収支決算報告について <監査報告> 3. 社会福祉法人しろね福祉会社会福祉充実計画について 4. 社会福祉法人しろね福祉会定款の一部改正（案）について 5. 社会福祉法人しろね福祉会就業規則の一部改正（案）について 6. 社会福祉法人しろね福祉会経理規程の一部改正（案）について 7. 社会福祉法人しろね福祉会育児休業及び育児短時間勤務に関する規程の一部改正（案）について 8. 社会福祉法人しろね福祉会介護休業及び介護短時間勤務に関する規程の一部改正（案）について 9. 社会福祉法人しろね福祉会平成 29 年度第 1 回評議員会の招集について
第 1 回 評議員会	平成 29 年 6 月 23 日 (金) 午後 2 時 00 分～ 特別養護老人ホームしなの園 ボランティアステーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人しろね福祉会平成 28 年度事業報告について 2. 社会福祉法人しろね福祉会平成 28 年度収支決算報告について <監査報告> 3. 社会福祉法人しろね福祉会社会福祉充実計画について 4. 社会福祉法人しろね福祉会理事及び監事の選任について 5. 社会福祉法人しろね福祉会役員報酬及び費用弁償に関する規程の承認について 6. 社会福祉法人しろね福祉会定款の一部改正（案）について
第 2 回 理事会	平成 29 年 6 月 23 日 (金) 午後 3 時 30 分～ 特別養護老人ホームしなの園 ボランティアステーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人しろね福祉会理事長選出について 2. 社会福祉法人しろね福祉会評議員選任・解任委員の選出について
第 3 回 理事会	平成 29 年 10 月 25 日 (水) 午後 1 時 30 分～ 特別養護老人ホームしなの園 ボランティアステーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人しろね福祉会平成 29 年度上半期事業報告について 2. 社会福祉法人しろね福祉会受電設備更新工事の実施について 3. 社会福祉法人しろね福祉会平成 29 年度補正予算（案）について
第 4 回 理事会	平成 30 年 3 月 16 日 (木) 午後 1 時 30 分～ 特別養護老人ホームしなの園 ボランティアステーション	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人しろね福祉会平成 29 年度第二次補正予算（案）について 2. 社会福祉法人しろね福祉会平成 30 年度事業計画（案）について 3. 社会福祉法人しろね福祉会平成 30 年度収支予算（案）について 4. 社会福祉法人しろね福祉会介護老人福祉施設運営規程の一部改正（案）について 5. 社会福祉法人しろね福祉会短期入所生活介護及び介護予防短期入所生活介護運営規程の一部改正（案）について 6. 社会福祉法人しろね福祉会通所介護及び介護予防通所介護運営規程の全部改正（案）について 7. 社会福祉法人しろね福祉会特別養護老人ホームサービスに関する苦情解決決定実施要領の全部改正（案）について

2. 防災訓練実施状況

区 分	第 1 回	第 2 回
訓練の区分	消防計画に基づく総合訓練（昼間）	同 左（夜間想定）
実施の日時	平成 29 年 10 月 19 日（木） 14 時 00 分～15 時 15 分	平成 30 年 3 月 30 日（金） 14 時 00 分～15 時 00 分
実施の場所	調理室からの出火を想定し、正面玄関に避難	夜間洗濯室からの出火を想定し、ボランティアステーションに避難
訓練参加者	職員（30 名） 利用者（43 名）	職員（23 名） 利用者（26 名）
避難訓練内容	①火災受信機により火災発生区域の確認 ②消防署への 119 番通報 ③施設内への避難放送 ④利用者の避難誘導 ⑤消火器・補助消火栓を使用し、初期消火	①火災受信機により火災発生区域の確認 ②消防署への 119 番通報 ③施設内への避難放送 ④利用者の避難誘導 ⑤消火器を使用し、初期消火
講評・反省等	<ul style="list-style-type: none"> ・火災警報音で避難指示の放送が聞き取れず、避難開始が遅れた。また、放送が入らない場所があった。 ・職員が声を掛け合っていたので、避難誘導がスムーズに行えた。 ・非常通報装置が作動すると緊急連絡網の 15 名に自動で火災通報されるが、順番に電話がかかるため時間がかかりすぎる。人数調整が必要。 <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内放送が聞こえなかった。 ・夜間は職員が少ないので効率的に避難誘導することが重要。 ・避難誘導の際、職員同士の声かけが少なかつた。 ・常に避難経路を把握しておくことが大切だと感じた。 <p style="text-align: right;">等</p>
その他 (防災訓練)	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師（応急手当普及員講習受講者）及び消防設備業者の指導のもと職員対象に下記の訓練を実施 1. AED を用いて一次救命訓練 2. 水消火器を使用しての消火訓練 3. 消火栓を使用しての放水訓練 4. 非常用発電機の操作方法の習得 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防設備業者の指導のもと、補助消火栓の取扱方法説明と実際に消火栓を使用しての放水訓練を実施

(その他)

平成 29 年 10 月 1 日（日）10:00～庄瀬地区防災訓練参加

平成 29 年 12 月 7 日（木）19:00～緊急通報訓練実施

※緊急連絡網による職員招集訓練（伝言）

3. 研修参加の状況

【外部研修】

	研修名	研修期間						参加人数	日数	延べ人数
		年	月	日	～	月	日			
1	人材育成・定着セミナー	29	5	22		5	22	1	1	1
2	はじめての口腔ケア		5	22		5	22	1	1	1
3	南区包括主催勉強会「成年後見研修会」		5	25		5	25	5	1	5
4	新潟市認知症介護基礎研修		5	26		5	26	3	1	3
5	接遇研修（初任者コース）		6	6		6	6	2	1	2
6	新潟市認知症介護実践者研修		6	6		6	30	1	6	6
7	接遇研修（リーダー養成コース）		6	8		6	8	1	1	1
8	ボランティア受け入れ施設担当者研修		6	15		6	15	1	1	1
9	介護予防口腔機能向上プログラム		6	16		6	16	1	1	1
10	苦情受付担当者研修会		6	20		6	20	2	1	2
11	中堅職員研修会		6	21		6	22	2	2	4
12	平成29年度企画研修		6	21		6	21	3	1	3
13	接遇研修（初任者コース）		6	27		6	27	1	1	1
14	労務セミナー		6	28		6	28	1	1	1
15	第2ブロック部会第1回研修会		6	29		6	29	2	1	2
16	経営者・人事労務担当者セミナー		7	7		7	7	1	1	1
17	指導的職員研修		7	10		7	11	3	2	6
18	南区包括主催「事例研究会（振り返り編）」		7	11		7	11	1	1	1
19	南区包括主催「虐待研修会（基礎編）」		7	14		7	14	2	1	2
20	平成29年度給食施設指導会		7	14		7	14	1	1	1
21	介護支援専門員更新研修（専門Ⅰ）		7	18		7	19	1	2	2
22	安全運転管理者等講習		7	21		7	21	1	1	1
23	第1ブロック第1回研修会		7	21		7	21	3	1	3
24	指導的職員研修		7	24		7	25	2	2	4
25	新潟市認知症介護実践者研修（実習中間報告会）		7	25		7	25	1	1	1
26	中堅職員研修		7	26		7	27	2	2	4
27	南区包括主催「自立支援を考える会in南区」		7	26		7	26	9	1	9
28	人事セミナー2017		7	27		7	27	1	1	1
29	福祉車両安全運転講習会		7	27		7	27	1	1	1
30	ハラスメント防止対策セミナー		7	28		7	28	1	1	1
31	気づく力研修		8	2		8	2	1	1	1
32	南区包括主催「介護予防ケアプラン学習会」		8	3		8	3	2	1	2
33	介護支援専門員更新研修（専門Ⅰ）		8	3		8	18	1	6	6
34	第2回新潟市南部地区ソーシャルワーカー研修会		8	3		8	3	1	1	1
35	福祉職員キャリアパス対応生涯過程（初任者）		8	17		8	18	2	2	4
36	社会福祉法人制度改革対応セミナー		8	23		8	23	1	1	1
37	地域福祉コーディネーター育成研修		8	23		8	23	1	1	1
38	新潟市認知症介護実践者研修（成果報告）		8	24		8	24	1	1	1
39	気づく力研修		8	25		8	25	1	1	1
40	平成29年度みなふくねっと勉強会「南区のこれからのを考える～看取り～について」		8	25		8	25	5	1	5
41	コミュニケーションスキルアップ研修		9	5		9	5	1	1	1
42	第53回関東ブロック老人福祉施設研究総会		9	7		9	8	3	2	6
43	新潟市地域医療市民向けシンポジウム		9	7		9	7	2	1	2
44	アクティビティケア研修		9	8		9	8	1	1	1
45	精神・発達障害者しごとサポーター養成講座		9	11		9	11	1	1	1
46	南区包括主催勉強会「事例研究会」		9	12		9	12	1	1	1
47	コミュニケーションスキルアップ研修（リーダーコース）		9	12		9	12	1	1	1
48	地域福祉コーディネーターフォローアップ研修		9	13		9	13	1	1	1
49	障がい者のためのスキルアップセミナー		9	13		9	13	1	1	1
50	福祉職員キャリアパス対応生涯過程（中堅）		9	14		9	15	1	2	2

	研 修 名	研修期間						参加 人数	日数	延べ 人数		
		年	月	日	～	月	日					
51	南区・みなふくねっと・居宅連絡会合同研修会			9	15			9	15	8	1	8
52	看護職員実務研修			9	16			9	16	1	1	1
53	メンタルヘルス研修			9	19			9	19	2	1	2
54	介護職員のための腰痛防止介護技術研修			9	21			9	22	3	2	6
55	高齢者の機能訓練を学ぶセミナー			9	21			9	21	1	1	1
56	福祉職員キャリアパス対応生涯課程			9	28			9	29	2	2	4
57	記録の書き方研修			10	11			10	10	1	1	1
58	南区3包括主催勉強会「当事者の声を聴こう」			10	13			10	13	5	1	5
59	省エネ補助金を確実に活用するための設備更新セミナー			10	13			10	13	1	1	1
60	伝える力研修			10	18			10	18	2	1	2
61	高齢者虐待防止研修			10	18			10	19	4	2	8
62	第2回新潟市認知症介護実践者研修			10	19			10	31	1	6	6
63	福祉サービスに関する苦情解決責任者研修会			10	25			10	25	1	1	1
64	新潟県介護支援専門員実務研修実習指導者事前研修			10	25			10	25	1	1	1
65	新潟市居宅介護支援事業者連絡協議会研修会			10	26			10	26	1	1	1
66	新潟県喀痰吸引等指導者講習			10	30			11	4	1	2	2
67	介護支援専門員更新研修（専門Ⅱ）			11	1			11	21	1	4	4
68	認知症ケア・対応研修			11	9			11	9	1	1	1
69	南区3包括主催勉強会「高齢者虐待」			11	10			11	10	5	1	5
70	南区包括主催勉強会「事例研究会」			11	14			11	14	1	1	1
71	平成29年度結核・感染症研修会			11	14			11	14	1	1	1
72	第2ブロック部会第2回研修会			11	15			11	15	2	1	2
73	平成29年度総務委員会企画研修			11	16			11	16	2	1	2
74	第3ブロック部会平成29年度研修会			11	17			11	17	1	1	1
75	口腔ケア研修			11	20			11	20	2	1	2
76	第2回新潟市認知症介護実践者研修（中間報告）			11	28			11	28	1	1	1
77	防災講演会			12	1			12	1	1	1	1
78	施設介護支援専門員研修会			12	9			12	9	1	1	1
79	モチベーションアップ研修			12	11			12	11	1	1	1
80	モチベーションアップ研修			12	12			12	12	1	1	1
81	南区包括主催勉強会「事例研究会」			12	13			12	13	1	1	1
82	看取りケア			12	14			12	14	3	1	3
83	虐待防止・対策研修			12	19			12	19	2	1	2
84	新潟県経営協セミナー（後期）			12	22			12	22	1	1	1
85	第2回新潟市認知症介護実践者研修(成果報告)	30		1	9			1	9	1	1	1
86	南区包括主催「コミュニケーション学習会」			1	16			1	16	6	1	6
87	平成29年度企画研修第5回研修会			1	18			1	18	3	1	3
88	新潟県社会福祉法人経営青年会研修			1	30			1	30	1	1	1
89	南区3包括主催勉強会「弁護士にきいてみよう」			2	7			2	7	4	1	4
90	認定調査従事者研修			2	7			2	7	2	1	2
91	認定調査従事者研修			2	9			2	9	3	1	3
92	CanCanミーティング			2	13			2	13	1	1	1
93	ケアマネ ブラッシュアップ研修会			2	14			2	14	1	1	1
94	南区包括主催勉強会「個別ケア会議研修会」			2	15			2	15	1	1	1
95	魅力ある職場フォーカスセミナー			2	20			2	20	1	1	1
96	応急手当普及員再講習			2	22			2	22	1	1	1
97	労務セミナー			2	23			2	23	1	1	1
98	平成29年度災害福祉広域支援セミナー			3	1			3	1	1	1	1
99	移動販売セミナー			3	13			3	13	2	1	2
100	みなふくねっと・居宅連絡会合同研修会			3	15			3	15	7	1	7
101	平成30年度介護報酬改定と算定要件の全解説と対策			3	27			3	27	1	1	1
102	新潟県老人福祉施設協議会管理者研修			3	29			3	29	1	1	1
										187	132	231

【内部研修】

	研修名	研修期間						参加人数	日数	延べ人数
		年	月	日	～	月	日			
1	倫理研修	29	4	10		4	10	12	1	12
2	接遇・ビジネスマナー		4	24		4	24	15	1	15
3	看取りケア（基礎編）		5	8		5	8	12	1	12
4	感染症研修（食中毒編）		5	22		5	22	5	1	5
5	リスクマネジメント研修		6	11		6	11	10	1	10
6	リスクマネジメント研修		6	25		6	25	8	1	8
7	地域包括ケアシステム（施設編）		7	10		7	10	9	1	9
8	地域包括ケアシステム（在宅編）		7	24		7	24	11	1	11
9	褥瘡について		8	14		8	14	7	1	7
10	しなの園でのリハビリについて「実践編」		8	25		8	25	12	1	12
11	感染症についての基礎知識		9	11		9	11	9	1	9
12	感染症についての基礎知識		9	25		9	25	8	1	8
13	虐待予防・対策研修（施設編）		10	10		10	10	9	1	9
14	虐待予防・対策研修（在宅編）		10	23		10	23	10	1	10
15	職員の健康管理		11	13		11	13	14	1	14
16	医療知識		11	27		11	27	10	1	10
17	メンタルヘルスセミナー		12	11		12	11	31	1	31
18	医療知識		12	25		12	25	6	1	6
19	看取りケア（応用編）	30	1	9		1	9	7	1	7
20	食事介助について		2	13		2	13	8	1	8
21	移乗・移動介助について		2	26		2	26	8	1	8
22	認知症ケア実践者研修復命		3	9		3	9	14	1	14
23	成年後見制度		3	26		3	26	11	1	11
								246	23	246

（研修参加の状況）

平成 29 年度外部研修の参加状況は、新潟県社会福祉協議会主催の研修受講が大半を占めているが、それ以外では各専門職の専門性が高められるようにそれぞれの分野の研修を受講した。また、一人 1 研修受講できるように調整を行った。

内部研修の参加状況は昨年度よりやや減少しているが、定期研修以外に重大事故発生に関連した臨時研修を 1 月中に 3 回、その中で受講できなかった職員に対しては個別に対応した。定期研修会は、研修委員会が中心となり立案し実施しているが、介護職員の痰吸引に関する技術向上を目的に痰吸引等安全管理委員会主催の園内研修も一人 1 回受講出来るように行った。

4. 実習生受け入れ状況

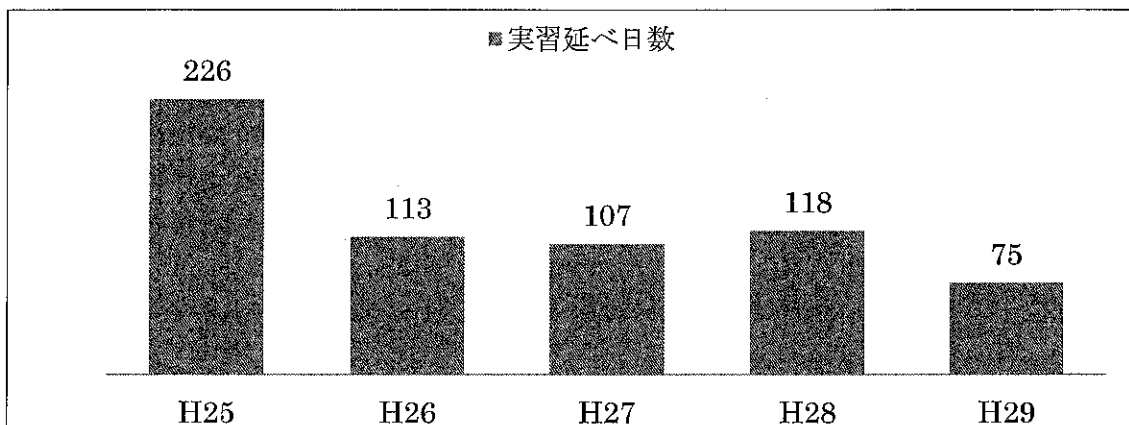
【月別実習人数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実習人数	0	0	1	0	1	3	1	1	1	0	2	0	10
延べ日数	0	0	12	0	7	27	12	10	1	0	6	0	75

実習名	実人数	延べ日数	実習依頼校
社会福祉援助技術現場実習	2	47	新潟医療福祉大学 新潟青陵大学
介護職員初任者研修（現場実習）	2	2	三幸福祉カレッジ
介護福祉士実習	1	20	新潟青陵大学
介護支援専門員実務研修見学実習	2	6	新潟県
計	7	75	

【年度別推移】

年度	H25	H26	H27	H28	H29
実習延べ日数	226	113	107	118	75



（実習生受け入れ状況）

平成 29 年度実習生受け入れ状況は、大幅に減少した。介護福祉士実習について、学生数の減少、学生の居住地・交通手段が合わない、実習施設の増加等の影響から、養成校からの受け入れ依頼が更に減った。社会福祉援助技術現場実習について、長期間の実習であったが多様なプログラムを用意し受け入れることができた。

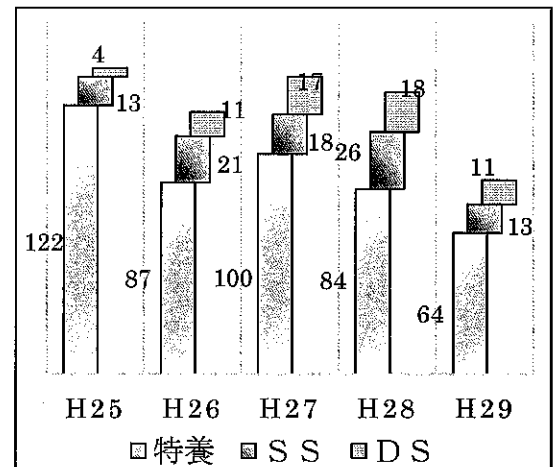
今年度は、障がい者団体の申出により、チャレンジド（障がい児者）就労体験サポートプログラムの受け入れ企業として、障がい児 1 名とジョブサポーター 1 名を半年間 1 2 回受け入れ、就労体験支援を行った。

5. 事故発生

(1) 事故状況

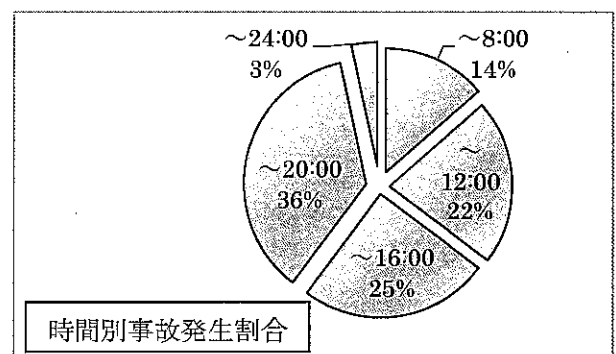
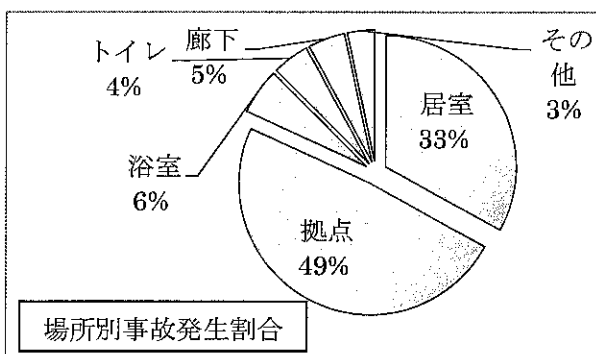
(月別)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	12	6	4	4	9	6	6	10	8	10	6	7	88

(事故別)	特養	SS	DS	合計
転倒・尻もち	25	6	5	36
転落・ずり落ち	14	1	0	15
誤嚥	1	0	0	1
誤薬	0	1	0	1
その他	24	5	6	35
合計	64	13	11	88



平成29年度事故発生状況は、全体的に件数が減少するも利用者が骨折する重大事故が5件発生した。そのうち直接介助時が3件あった。この状況を重く受け止め転倒事故非常事態宣言を発令し、全職員に対し臨時研修会を実施。また、それぞれの事故について要因分析を行い対策の実施を徹底した。

(受傷別)	特養	SS	DS	合計
骨折	3	1	1	5
打撲・腫脹	1	0	0	1
表皮剥離	8	0	1	9
裂傷・擦傷	7	1	4	12
皮下出血	0	1	2	3
その他	9	1	0	10
異常なし	36	9	4	49
合計	64	13	12	89



(2) 苦情 (意見・要望等)

	特養	SS	DS	居室	その他	合計
H28	9	5	2	4	0	20
H29	6	5	8	2	0	21

苦情 (意見・要望等) 受付状況は、件数的には昨年度並みであった。本人からの申出が6件、家族からが13件、その他が2件、また受付経路としては直接が9件、間接が13件であった。昨年度は、各部署の苦情受付担当者が集まり苦情処理業務の見直しとマニュアル作成を行った。

6. ボランティア受け入れ状況

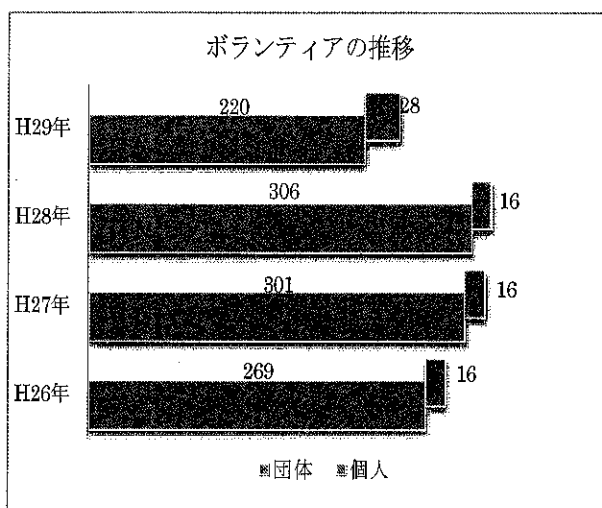
(1) 来園ボランティア

日付	ボランティア名	区分	人数	日付	ボランティア名	区分	人数		
H29	4月1日	滝沢文子様	個人	1	9月4日	麗人会様	団体	4	
	4月10日	麗人会様	団体	6	9月21日	まめの木様	団体	2	
	4月13日	まめの木様	団体	2	9月24日	昭和しぐれ会・昭和めぐみ会様	団体	7	
	4月27日	折り鶴様	団体	6	9月24日	石山和美様	個人	6	
	4月28日	狩谷洋子様	個人	2	9月24日	オカリナサークル虹様	団体	7	
	5月1日	麗人会様	団体	5	9月24日	折り鶴様	団体	6	
	5月7日	堤敏之様	個人	1	9月28日	折り鶴様	団体	5	
	5月6日	滝沢文子様	個人	1	10月2日	麗人会様	団体	6	
	5月11日	仲良会様	団体	4	10月7日	滝沢文子様	個人	1	
	5月18日	まめの木様	団体	3	10月12日	朱鷺の会様	団体	2	
	5月21日	白根ローターアクトクラブ様	団体	6	10月15日	堤敏之様	個人	1	
	6月3日	滝沢文子様	個人	1	10月26日	折り鶴様	団体	7	
	6月5日	麗人会様	団体	9	11月6日	麗人会様	団体	7	
	6月22日	折り鶴様	団体	8	11月16日	まめの木様	団体	1	
	7月1日	滝沢文子様	個人	1	12月2日	滝沢文子様	個人	1	
	7月3日	麗人会様	団体	7	12月4日	麗人会様	団体	7	
	7月20日	まめの木様	団体	2	12月8日	南区赤十字奉仕団様	団体	19	
	7月27日	折り鶴様	団体	7	12月12日	渡辺悦子様	個人	4	
	8月1日	白南中学校夏休みボランティア体験	団体	2	12月14日	仲良会様	団体	4	
	8月5日	滝沢文子様	個人	1	12月19日	狩谷洋子様	個人	2	
	8月7日	麗人会様	団体	8	12月28日	折り鶴様	団体	6	
	8月24日	まめの木様	団体	2	H30	2月3日	滝沢文子様	個人	1
	8月24日	折り鶴様	団体	6		2月18日	坂井進様	個人	1
	8月25日	庄瀬小学校4年生様	個人	1		3月3日	滝沢文子様	個人	1
9月2日	滝沢文子様	個人	1	3月5日		麗人会様	団体	5	
9月3日	南区肢体不自由児者父母の会様	団体	24	3月7日		南区赤十字奉仕団様	団体	18	

(2) 月別ボランティア数(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体	14	18	17	16	18	55	15	8	36	0	0	23	220
個人	3	2	1	1	2	7	2	0	7	0	2	1	28
合計	17	20	18	17	20	62	17	8	43	0	2	24	248

(3) ボランティアの推移



(ボランティア受け入れ状況)

ボランティア来園者数は、定期訪問団体の回数減少及び活動終了や冬場の天候による訪問中止等が影響し低下した。新規受け入れは、ホームページからの申し込みが2件、社会福祉協議会ボランティアコーディネーターからの紹介で1件受け入れた。訪問活動が継続できるようにボランティア委員を中心に支援してきた。

ボランティア交流会は、9団体個人合わせて25名出席。年に1回の開催で出席者も定着している。

7. 家族介護者教室の実施状況（新潟市委託事業）

開催／日時／会場	内容	参加者数	職員数
平成 29 年 10 月 17 日（火） 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分 南区白根健康福祉センター	「高齢者の食事のおはなし」 講師：しなの園管理栄養士	9	4
平成 30 年 3 月 24 日（土） 午後 2 時～午後 3 時 南区白根健康福祉センター	「フルーツコンサートと認知症予防 体操」 講師：しなの園フルーツ演奏 ボランティア	39	3
計		48	7

（家族介護者教室の実施状況）

家族介護者教室は、2回実施することができた。3月に開催した教室は、認知症カフェ「より道カフェかけ橋」と共催で行った。参加者数を増やすために、昨年度と同等のPRの他、新たに白根地区の回覧板にチラシ配布を依頼し対応した。その為か、しなの園在宅サービス利用者以外の方からも参加があった。

